

室蘭工業大学-学報

NO.638



消石灰有効性可視化剤「リトアクア」を開発した株式会社コアラボが令和4年度北海道新技術・新製品
開発賞ものづくり部門 奨励賞を受賞（1ページに関連記事あり）

2022年12月号

目 次

◇ 学内の動き ◇

消石灰有効性可視化剤「リトアクア」を開発した株式会社コアラボが令和4年度北海道新技術・新製品開発賞ものづくり部門 奨励賞を受賞……………	1
「アシルルートイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点」のキックオフイベントを開催……………	2
令和4年度合同業界研究会を開催……………	3
地域PBL発表交流会を開催……………	4
教職員のためのダイバーシティセミナー2022を開催……………	5
室蘭栄高校と高大連携に関する協定を締結……………	6
ルートインBCリーグ2022ドラフト会議 佐藤悠津樹投手（創造工学科4年）が福島レッドホープスから4位指名……………	7
環境省「令和4年度既存のインフラを活用した水素供給低コスト化に向けたモデル構築・実証事業」に採択……………	8
第29回蘭岳セミナーを開催……………	9

◇ 情報・資料 ◇

地方創生研究開発センター「プレ共同研究」の採択……………	10
------------------------------	----

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ……………	11
受託研究等の受入れ……………	12
奨学寄附金の受入れ……………	13

◇ 人 事 ◇

人事異動……………	14
表彰……………	15

◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催……………	16
------------------	----

◇ 日 誌 ◇

学内行事……………	17
学外行事……………	17

学内の動き

消石灰有効性可視化剤「リトアクア」を開発した 株式会社コアラボが令和4年度北海道新技術・新製品 開発賞ものづくり部門 奨励賞を受賞しました

本学発ベンチャーである株式会社コアラボ（代表取締役 中野 浩幸）が令和4年度北海道新技術・新製品開発賞において、ものづくり部門奨励賞を受賞しました。

北海道新技術・新製品開発賞は、北海道における工業等の技術開発の促進、新産業の創出や既存産業の高度化を図るため、平成10年に創設され、これまで、食品加工や機械金属などのものづくり分野で、特色ある技術や製品が表彰されています。

奨励賞を受賞した消石灰有効性可視化剤「リトアクア」は、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等、家畜伝染病防疫のために消毒薬と併用される消石灰の有効性を確認する判別液です。強アルカリ（消石灰）では青色、弱アルカリ（炭酸カルシウム）では赤色となるように液組成を調整したことにより、消石灰の消毒効力を簡便に判別でき、効果的・効率的な消石灰散布を可能にします。この度「リトアクア」の新規性・独創性が認められ、奨

励賞を受賞しました。

（受賞者一覧）

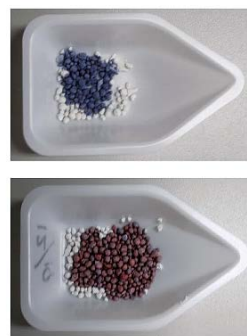
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ssg/monodukuri/r4singijutujushou.html>

（製品情報）

<http://www.kashiken.co.jp/products/cat04/cat04-03/>

（受賞者コメント）

消石灰散布にともなう肉体的・精神的な負担を少しでも軽減できれば、この思いから「リトアクア」はうまれました。多くの畜産関係者からいただいた期待の声、助言がなければ商品化には至らなかったと思っています。今回の受賞を励みに、消石灰の必要性を広く知ってもらう活動をこれまで以上に進めるとともに、新たな防疫資材の開発に注力します。



「アシルートイタによる心と体に響く新しい食の価値 共創拠点」のキックオフイベントを開催しました

室蘭工業大学が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）の代表機関として、新しい食産業と食文化を発信するプロジェクトのキックオフイベントを開催しました。

「アシル」とはアイヌ語で「新しい」という意味です。「トイタ」は「土地を耕す」ことを意味します。私たちはアイヌの知恵に学び、白糠町の大地、文化、自然、そしてヒトのつながりを新しく耕すことで、人々が集い住みたくなる豊かな町にします。

本拠点では、白糠町特有の気候風土で生産が可能な地域独自の体に響く『食物』を開発し、合わせて栄養や機能情報と文化や伝承などの在来知情報を融合した心に響く『食物語』を消費者と共有するしくみを共創します。これにより、作りっぱなしの一次産業から脱却し、農業が子供達に継がせたい魅力で誇れる職業へと変容

します。『食物語』をキーワードに人々がつながる社会が形成され、「人々が集いたくなる、住みたくなる、豊かな食のまち」へと変貌することが期待されます。

イベントには約70名が出席。空閑学長は「確かな研究力を活かして、北海道そして白糠町の基幹産業である食産業に、大学や参画企業が持つサイエンスやテクノロジー、そしてこの自然豊かな地に生きてこられたアイヌの先人たちの知恵を結集し、10年、20年先を見据えた食のイノベーションを巻き起こしていきたい」と話し、プロジェクトリーダーの徳樂清孝教授は「付加価値の高い作物を栽培することで、1次産業を担う若者を増やしたい」と意気込みを述べました。

最後に、白糠町長をはじめとした幹事機関の方や白糠高校の生徒らが、プロジェクトのシンボルとなる旗に署名し、成功を願いました。



プロジェクトの成功に向けこぶしを挙げる参加者



棚野孝夫町長（左）と空閑良壽学長



プロジェクトリーダー徳樂清孝教授のプレゼンテーション



白糠高校の生徒による署名

令和4年度合同業界研究会を開催しました

令和4年度合同業界研究会を11月12日(土)、13日(日)が道内企業、19日(土)、20日(日)が道外企業を対象として開催しました。

本イベントは、就職を志望する学生が、各企業・業界の状況やインターンシップの重要性等について企業の担当者から直接説明を受け、自ら企業・業界研究を行うことにより各自の目指す業種や職種を考え、今後の就職活

動に資することを目的として行っています。

今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、参加企業のブースを60ブース以下、参加学生も250名までと制限した上で対面・ブース形式で開催し、企業410社、学生延べ約2,840名が参加しました。

参加した学生は、それぞれのブースで採用担当者から説明を受け、大変熱心に耳を傾けていました。



会場の様子①



会場の様子②

地域PBL発表交流会を開催しました

令和4年11月13日(日)に、北海道若者活躍プロジェクトが主催して、地域PBL発表交流会を開催しました。

本会では、「学生と企業がミライの北海道を考える地域課題解決プロジェクト」と題して、同プロジェクトに参加する大学・高専の学生が地域課題の解決を目指し考案したアイデアや実際の取組み（地域PBL）について発表し意見を交わしました。今年は、3年ぶりに対面形式により札幌（北洋銀行セミナーホール）で開催し、学生、企業等から28機関、66名の方々にご参加いただきました。

第1部では、大学3校・高専3校の学生7チームが、スライドにより地域PBLの取組みの概要を説明しました。第2部では、7チームのブースごとに、ポスターや試作

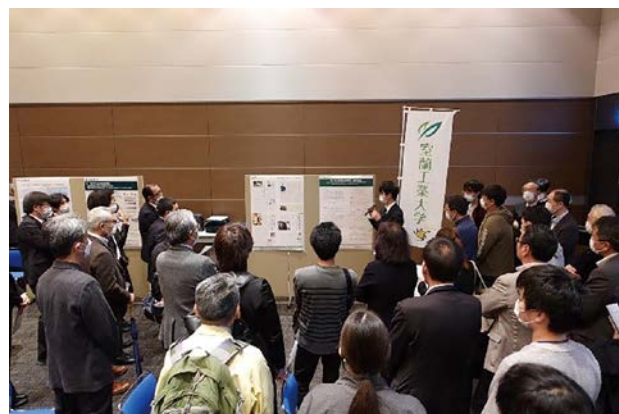
模型を使って学生自身が考案したアイデアの具体的かつ詳細なプレゼンテーション後、参加者との意見交換が展開されました。

企業や学生からは、課題提供先企業等の反応や実用化に向けた課題等について質疑があり、発表者の学生と具体的な意見交換を行っていました。

意見交換終了後は表彰式があり、苫小牧工業高等専門学校校のアイデア「工場内の呼び出しシステムモデル」が最優秀賞に選ばれました。最優秀賞の発表学生に対して、北海道科学大学から副賞（小皿セット）の贈呈がありました。



スライドを使用した地域PBLの取組みを説明
(北海道科学大学)



ポスターによるプレゼンテーション
(室蘭工業大学)



ポスターによるプレゼンテーション
(函館工業高等専門学校)



表彰式の様子
(苫小牧工業高等専門学校)

教職員のためのダイバーシティセミナー2022を開催しました

令和4年11月17日(木)、本部棟3階大会議室において、教職員のためのダイバーシティセミナー2022を開催しました。

この講演会は、本学の教職員を主な対象に男女共同参画推進の意識啓発を目的として、年1回開催しています。

本年度は、講師に株式会社危機管理教育研究所代表 国崎 信江 氏をお招きし、「災害対応を男女共同参画の視点で考える」と題して、被災地の実情をご紹介いただくとともに、災害時における乳幼児及び妊産婦等の要配慮者に対する支援の課題や災害分野における女性参画の重要性についてご講演いただきました。講演後の質疑応答では参加者からの質問に対して、国崎氏より一つひとつ真摯にお答えいただきました。

当日は本学教職員及び執行役員のほか、オンライン配信（Zoom）にて聴講した教職員、学生及び文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）の共同実施機関の方も含めて34名の参加があり、大変興味深い内容に参加者は熱心に耳を傾けていました。



室蘭栄高校と高大連携に関する協定を締結しました

令和4年11月24日、本学と室蘭栄高校は「高大連携に関する協定」を締結しました。室蘭栄高校は、スクールミッション「向学心や探究心を身に付け、新たな社会的価値や科学技術分野の発展に貢献できる生徒を育成」の実現のため、より教育効果の高い特色ある教育活動の展開を目指しており、本学との連携をより強化したいとの申し出がありました。

本学としても積極的に協力することを通じて、これまで培ってきた連携関係を一層発展させ、高大接続の新たな可能性を探り、理工系分野の興味や関心を高めて理工系へ進学する生徒が増加することにつながればと考えています。

本学と高校との協定は、今回が初めてとなります。今後は、令和5年4月から、室蘭栄高校の意欲のある生徒を本学の環境、防災、MONOづくり各分野の社会課題解決型の研究室で1研究室あたり3～4名程度を受け入れる予定です。



ルートインBCリーグ2022ドラフト会議 佐藤悠津樹投手 (創造工学科4年) が福島レッドホープスから4位指名！

室蘭工業大学硬式野球部のエース、佐藤悠津樹投手(創造工学科4年)が、令和4年11月17日に開催されたプロ野球独立リーグの「ルートインBCリーグ2022ドラフト会議」で、福島レッドホープスから4位指名を受けました。

福島レッドホープスからの4位指名後、N棟前広場にあるモニュメント「新しい風」で行われた広報室による取材に対し、佐藤投手は「室蘭工業大学からでも成長し、プロを目指せるという強い気持ちを持っていた。日々、野球と勉学を両立させ、練習に取り組んできました。入団後はチームのエースを張れる選手になり、NPBを目指したい」と力強く語りました。

取材に同席した桃野副学長からは「将来的には工学経

験者のプロ野球選手として、テクノロジーと野球などのスポーツの懸け橋になって欲しい」との話がありました。

「スランプの時などに励ましてくれた仲間がいたからこそ今回の結果に繋がった」と語る佐藤投手の取材に同席したチームメートの一人である硬式野球部前主将の塩口さんは「誰よりも懸命に野球に取り組むことが指名に繋がったと思う。今後の活躍に期待します。」と自らの出来事のように喜んでいました。

佐藤投手は、来年3月に福島レッドホープスに合流し、トレーニングなどを始める予定となっております。

福島レッドホープスHP：<https://red-hopes.com/>

BCリーグHP：<https://www.bc-ljp/>



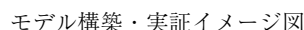
福島レッドホープスのエースになりたいと語る佐藤投手



佐藤選手を囲むチームメートと桃野副学長、松本野球部顧問

環境省による、本格的な水素利活用の拡大によって中長期的な地球温暖化対策を推進することを目的とし、既存の再エネ発電施設等を活用した、水素をつくり、はこび、ためて、つかうといった、製造から利用まで一貫した低コストな再エネ水素サプライチェーン実証を行います。

本学では、室蘭+脱炭素タスクフォースとしてカーボンニュートラルへの取り組みを積極的に行っています。



第29回蘭岳セミナーを開催しました

蘭岳セミナーの第29回目を、11月25日(金)に教育・研究1号館A304講義室とオンラインのハイブリット形式で開催し、会場及びオンラインで約110名が参加しました。

今回は、東京大学生産技術研究所所長・教授の岡部徹氏を講師に招き、「レアメタルの過去・現在・未来」と題して、レアメタルの需要や生産などに関する現状と課題、レアメタルに対する誤解や偏見、さらには日本では

知ることができない裏の問題についてもわかりやすくご講演いただき、参加者は興味深く聴き入っていました。講演途中には大学院工学研究科博士後期課程工学専攻先端生産システム工学コース1年の平澤龍さんとの質疑も交えつつ、会場を巻き込んだ講演は、質疑の時間が足りなくなるほどの盛り上がりで、セミナーは盛況のうちに終了しました。



講演する岡部氏



会場の様子

情報・資料

地方創生研究開発センター「プレ共同研究」の採択

令和4年度地方創生研究開発センタープレ共同研究公募の結果、次のとおり採択されました。

本事業は、本学教員と民間機関等との研究者が、次年度以降において民間機関等との共同研究へ発展させるための前段階に相当する共同研究に対して助成を行うものです。

研究代表者・職・氏名	民間企業等	採択金額（千円）
しくみ解明系領域 准教授 馬 渡 康 輝	(株)マテック	500
もの創造系領域 准教授 大 石 義 彦	(株)アール・アンド・イー	500
合 計（2件）		1,000

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金 額 (千円)
もの創造系領域 教 授 青 柳 学	大 企 業	494
もの創造系領域 教 授 清 水 一 道	大 企 業	1,001
もの創造系領 助 教 佐々木 大 地	中 小 企 業	300
もの創造系領域 助 教 湊 亮二郎	中 小 企 業	585
合 計 (4 件)		2,380

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金 額 (千円)
しくみ解明系領域 教 授 徳 樂 清 孝	独 立 行 政 法 人	20,829
合 計 (1 件)		20,829

奨学寄附金の受入れ

寄 附 者	目 的	金 額 (千円)
株式会社複合技術研究所	工 学 研 究 助 成	500
株式会社タクマ	工 学 研 究 助 成	500
室蘭工業大学地方創生研究開発センター研究協力会	研究及び助成事業のため	3,000
公益財団法人カシオ科学振興財団	工 学 研 究 助 成	1,000
I-PEX株式会社	工 学 教 育 助 成	250
株式会社浅井ゲルマニウム研究所	工 学 研 究 助 成	50
益村測量設計株式会社	工 学 研 究 助 成	1,000
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	700
株式会社ドーコン	工 学 研 究 助 成	330
合 計 (9 件)		7,330

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和 4 年12月 1 日	〈採 用〉 入試戦略課国際交流室係員（国際企画係）	中 山 昂 紀	
令和 4 年11月30日	〈辞 職〉	BRAHMACHARI KAUSHIK	大学院工学研究科博士研究員
令和 4 年12月 1 日	〈雇用期間更新〉	市 川 真菜美 渡 部 翔 太 弘 田 あゆみ	大学院工学研究科事務補佐員 航空宇宙機システム研究センター 事務補佐員 総務広報課図書学術情報室 事務補佐員

表 彰

永年勤続者表彰式を挙行

勤労感謝の日にあたり、本学の職員又は他機関の教育関係業務に永年従事された被表彰者に対して、11月22日(火)に本部棟中会議室において令和4年度室蘭工業大学永年勤続者表彰式が執り行われました。

表彰式では、学長から今年度の被表彰者に表彰状と記念品が授与されました。その後の挨拶で学長は、永年にわたる本学への発展・充実の労に対して深い敬意と感謝の意を表し、これからのさらなる活躍を願われました。

次いで、被表彰者を代表し、もの創造系領域の渡邊浩太教授が、教員としての活動を振り返り、印象に残った出来事を踏まえながら謝辞を述べられました。

また、式終了後は記念撮影が行われ、出席者は和やかなひとときを過ごしなが、表彰を祝いました。

室蘭工業大学永年勤続者表彰被表彰者

もの創造系領域	渡 邊 浩 太
しくみ解明系領域	佐 藤 和 彦
ひと文化系領域	長谷川 雄 之
もの創造系領域	武 田 明 純
監 査 室	小 林 誠



表彰式の様子



学長の挨拶



謝辞を述べる渡邊浩太教授



学長とともに記念撮影

学内会議

学内各種委員会等の開催

<10月24日～11月25日>

- | | |
|------|---------------|
| 開催日時 | 令和4年10月25日(火) |
| 会議名 | 第18回役員会 |
| 開催日時 | 令和4年10月26日(水) |
| 会議名 | 第6回学長特命連絡会A |
| 開催日時 | 令和4年11月2日(水) |
| 会議名 | 第5回学長特命連絡会B |
| 開催日時 | 令和4年11月10日(木) |
| 会議名 | 第7回教育研究評議会 |
| 開催日時 | 令和4年11月10日(木) |
| 会議名 | 第19回役員会 |
| 開催日時 | 令和4年11月10日(木) |
| 会議名 | 第5回教授会 |
| 開催日時 | 令和4年11月15日(火) |
| 会議名 | 第20回役員会 |
| 開催日時 | 令和4年11月22日(火) |
| 会議名 | 第4回企画戦略会議 |
| 開催日時 | 令和4年11月22日(火) |
| 会議名 | 第7回学長特命連絡会A |

学内行事

- 10月26日(水) キャリア形成のためのランチタイムセミナー第16回
- 10月27日(木) 附属図書館リニューアルオープニング・セレモニー
- 10月28日(金) 明徳寮防火訓練
- 10月28日(金) 学内共同利用分析装置秋季定期見学会
- 10月31日(月) 全学一斉構内クリーン作戦
- 10月31日(月) 2023年度大学院博士前期課程・後期課程入学試験(第2次募集)
- 11月1日(火) 2023年4月入学理工学部総合型選抜・特別選抜合格発表
- 11月12日(土) 令和4年度合同業界研究会(道内企業)(13日まで)
- 11月12日(土) 令和4年度室蘭工業大学学生後援会地区別懇談会(13日まで)
- 11月17日(木) 教職員のためのダイバーシティセミナー2022
- 11月18日(金) 留学帰国報告会／海外活動懇談会
- 11月19日(土) 令和4年度秋の進学相談会in東京
- 11月19日(土) 令和4年度合同業界研究会(道外企業)(20日まで)
- 11月21日(月) 室蘭工業大学同窓会・水元技術士会との定例懇談会
- 11月22日(火) 永年勤続者表彰式
- 11月24日(木) 北海道室蘭栄高等学校との高大連携協定締結式

学外行事

- 10月28日(金) 令和4年度北海道若者活躍プロジェクト推進協議会(札幌)
- 10月29日(土) 留学生秋の見学旅行(洞爺湖)
- 11月2日(水) 第21回大学改革シンポジウム【カーボンニュートラルの実現に向けた大学の取り組み】(オンライン)
- 11月4日(金) 第57回国立工業大学長懇談会(東京)
- 11月4日(金) 函館工業高等専門学校訪問(函館)
- 11月7日(月) 「アシルートイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点」のキックオフイベント(白糠町)
- 11月8日(火) 旭川実業高等学校進学説明会(旭川)
- 11月11日(金) 国立大学協会令和4年度第2回通常総会(奈良)
- 11月13日(日) 北海道若者活躍プロジェクト地域PBL発表交流会(札幌)
- 11月15日(火) 札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会総会(札幌)
- 11月16日(水) 高専制度創設60周年記念式典(東京)
- 11月16日(水) 第20回道内工科系大学・学部と高専との教務関係実務担当者情報交換会(オンライン)
- 11月16日(水) 令和4年度胆振・日高管内高大連携協議会(室蘭)
- 11月17日(木) 令和4年度国立大学図書館協会秋季理事會(オンライン)
- 11月18日(金) 全国ダイバーシティネットワーク組織全国幹事会(オンライン)
- 11月18日(金) 令和4年度北海道地区人事に関する懇談会(札幌)
- 11月18日(金) 第14回UNIC/INC(イノベーションネットワークカフェ)「企業と大学が協働するPBLのいまー3大学における体験型学習の事例ー」(オンライン)
- 11月19日(土) 札幌医科大学新キャンパス落成記念式典・記念講演会(札幌)
- 11月19日(土) シンポジウム「大学設置基準改正と大学運営」(オンライン)
- 11月22日(火) 令和4年度大学マネジメントセミナー【これからのリカレント教育】(オンライン)
- 11月24日(木) 室蘭市水素エネルギーフォーラム(室蘭)
- 11月24日(木) 令和4年度第1回北海道地区国立大学法人等施設担当理事等・部課長連絡会議(オンライン)
- 11月24日(木) 令和4年度国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課室長会議(オンライン)

編集後記

◆ 教職員の皆様からの随想、提言等の御寄稿、あるいは学報への御意見、御希望、また、日頃感じていることなど多数お寄せくださるようお待ちしております。

(リンコム：総務広報課総務広報係、E-mail：koho@mmm.muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびょん」

■編集発行

室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所

株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308